

患者の生命を守る医療用ミトンの開発

■支援の概要

山口県内主要病院に対して実施した医療現場ニーズ調査から、患者に装着するミトンの改良についての要望が多く寄せられました。既に数多くのミトンが販売され、使われているにもかかわらず、点滴等を患者が引き抜いてしまう医療事故が多発していることがわかりました。

そこで、高い縫製技術を持った株式会社シーエスと山口県産業技術センターが連携して改良を重ね、県内主要4病院での臨床実験で高い評価を得ました。

■支援の項目

- ①着衣一体型でも着せやすく看護の支障にならないデザイン支援
- ②医療現場職員とのデザインレビュー、臨床評価方法の技術支援
- ③製品の展示会出展、販売ルート開拓の支援



ソデの長さをホックで微調整できます

先端はファスナーで全開します
そのまま手指が観察できます

両ソデをファスナーで外せます

入院着の上から着用できます

サイズ
S・M・L

スソの前だけ紐がついており、上にずり上がりません
背中にはシワが寄らず、仰向けに寝ても安心です

着衣一体型ミトンの特徴

医療現場職員とのデザインレビュー風景

協力頂いた医療機関：
山口県立総合医療センター
徳山中央病院
岩国医療センター
関門医療センター

■支援の成果

医療現場看護師のニーズを反映しながら改良を繰り返し、他社品との明確な差別化に成功しました。

- ①患者に外されないことを最優先した着衣一体型
- ②医療処置（点滴、血圧測定、酸素飽和度測定等）の妨害とならないデザイン
- ③点滴を抜いてしまう等の医療事故に対する看護師や医療現場職員の負担や不安を低減